



# 余土地区まちづくり通信Vol117

令和2年11月1日発行

〒790-0044 松山市余戸東4丁目4-34

☎090-8979-4101

HP:www.yodo-machikyou-net

✉メールyodom4010@gmail.com

## 第7回余土地区活性化ポスター 受章者決定

余土地区まちづくり協議会が募集していました「余土地区活性化ポスター」には118作品の応募があり、審査の結果、最優秀賞には余土小学校2年の山本陸さんの作品が選ばれました。その他優秀賞1点、佳作4点が次のとおり選ばれました。



最優秀賞 山本 陸さん (余土小2年)



優秀賞 丹下 侍音さん (さくら小1年)



佳作 濱田 安子さん (余戸東)



佳作 河野 音羽さん (さくら小3年)



佳作 北川 夏蓮さん (さくら小3年)



佳作 齋藤 奏恵さん (さくら小1年)

## まちづくり文庫

## 10月新刊のお知らせ

余土公民館図書室の「まちづくり文庫」に下記の図書を購入しましたのでご利用ください。余土公民館図書室は、毎週月曜日と金曜日の10時から12時に開館し本の貸出(貸出期間:2週間)を行っています。

図書名(著者名)	図書名(著者名)	図書名(著者名)
綴る女 (林真理子)	気がつけば、終着駅(佐藤愛子)	チンギス紀⑦ 虎落(北方謙三)
チンギス紀⑧ 杳冥(北方謙三)	少年と犬 (馳 星周)	卒寿の自画像 (中西 進)
一人称単数 (村上春樹)	ユニクロ潜入一年 (横田増生)	誰? (明野照葉)
ねこのすかん (大森裕子)	おすしのすかん (大森裕子)	パンのすかん (大森裕子)
考える力 (外山滋比古)	雪旅籠 (戸田義長)	夢をかなえるソウ (水野敬也)
欲が出ました(ヨシタケシンスケ)	私は真実が知りたい(赤木雅子)	ノアのはこ舟(ピーター・スピア)
女帝 小池百合子 (石井妙子)	無印良品ですっきり暮らしと収納のアイデア(エクスナレッジ東京)	
自分で作るありがとうファイル (財前直見)	47都道府県なんでもランキング (もぐら)	
赤ずきん旅の途中で死体と出会う (青柳碧人)	日本の365日季節の道しるべ(日本気象協会)	
村上祥子の電子レンジでシニアごはん(村上祥子)		



## 余土地区 防災研修会 開催！！

余土地区まちづくり協議会保健福祉安全委員会主催の防災研修会が10月1日（木）午後7時から余土公民館大会議室において開催され、74名の参加がありました。

今年の防災研修会は、11月8日（日）にさくら小学校で実施される「令和2年度松山市総合防災訓練」に向けて、松山市総合政策部防災・危機管理課の玉井崇人さんを講師に迎え、避難所をテーマにした研修が行われました。

- 1 避難所とは、災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設として市長が指定する避難所として、余土校区内には公民館、小中学校等9か所が指定されている。
- 2 避難所生活は、長期間の集団生活を強いられ、また、想定外の対応が必要になることもあることから、秩序を保つために最低限のルールが必要となり、避難所全体をみんなで管理・運営するための自主的に運営される組織が不可欠である。
- 3 大規模地震が発生したとき、とるべき行動は？
  - ①まずは自分の身の安全を守る。
  - ②家具や棚の上の物が落ちてくるかもしれないので、家具などから離れて揺れがおさまるのを待つ。
  - ③戸を開けて、出入口を確保する。
  - ④あわてて、家の外に飛び出さないこと。
  - ⑤門や扉、自動販売機やビルのそばに近づかないこと。また、避難所開設にあたって
  - ①避難所の鍵は原則、施設管理者が開錠するが、施設管理者が参集できない場合に備えて、地域の代表者が鍵を預かるなどの対応が必要である。
  - ②避難所には施設管理者や市担当職員の安全確認がなければ避難者の立ち入りは禁止される。あらかじめ避難所となる体育館等の避難所レイアウト図を作成しておくこと。
- 4 避難所の新型コロナウイルス感染症対策の基本は、3密（密閉、密集、密接）を避け、一人ひとりが基本的な感染症予防を実施することに加えて「ウイルスを持ち込まない、広げない」ことが大切である。
- 5 避難所開設にあたっての避難者の心得は
  - ①避難所は、住民が共同で生活する場である。
  - ②避難に必要なものは、自分で準備する。
  - ③公的な支援がすぐに届くとは限らない。
  - ④お互い様。避難者同士が助け合い、協力する。
- 6 さいごに  
災害時には、ベストな対策ではなく、限りある資源の中で、いかにベターな対応ができるかがカギとなり、皆さん、一人ひとりの協力が必要です。



また、当日は、地元にある愛媛パッケージ㈱から段ボール製の「防災用ベッド、パーテーション」の展示もあり、熱心に担当者に質問されていました。

### 各地区・団体からの情報コーナー

## 【第4回 Café de 盲天外】（10/25）開催！！

「一粒米の会」（会長：森二郎さん）主催の「第4回Café de 盲天外」が10月25日（日）に余土公民館大会議室にて開かれました。今回は、「森盲天外の俳諧の再興」をテーマに、森二郎会長が令和2年1月1日付の愛媛新聞に掲載されていた記事の紹介と令和2年2月12日にNHK・BSプレミアムで放送された「『奥の細道』への道一松尾芭蕉一五・七・五の革命」のDVDを視聴して、盲天外の俳諧の再興についてのお話がありました。

愛媛新聞の掲載記事は、竹田美喜子規記念博物館総館長が書かれたもので、「明治23年7月20日付の海南新聞に地元俳人の句を紹介する欄を設けた。これは正岡子規が新聞「日本」の文学欄に初めて俳句を掲載したのは海南新聞の3年後の明治26年だった。この海南新聞の俳句への積極性は、明治22年に入社した柳原極堂の功績としつつ、森盲天外が、海南新聞のライバル社であった「愛媛新報」から明治23年に海南新聞に移籍し、政治記事に止まらず、翌年7月に俳論を執筆している」などの記事の紹介があった。

これまで盲天外が海南新聞に移籍したのは明治25年とされていましたが、明治23年であったという新たな事実を知ることが出来ました。また、盲天外は、明治24年に松尾芭蕉の風格を慕い俳誌「はせを影」を主宰発行し俳諧革新を目指しましたが、松尾芭蕉についてのNHK・BSプレミアムで放送された番組をDVDで視聴し松尾芭蕉を慕った盲天外の心境を理解することが出来ました。

## 防災教育「水害学習会」 開催！！

松山市立椿中学校と愛媛県河川課・中予地方局建設部主催の防災教育「水害学習会」が9月15日（火）に椿中学校体育館と運動場で開催されました。

この学習会は、洪水時の危険性周知や人的・物的被害の防止等を目的として、水害等に関する座学や体験学習により防災知識の普及啓発を目的として実施されました。

この学習会には、昨年に引き続き、椿中学校1年生161人に加え、市坪町内からも14名が参加しました。座学の後、体験学習として、おもりをつけての模擬水中歩行体験に加えて、降雨体験装置、土石流3Dシアターもあり、中身の濃い有意義な体験学習となりました。

市坪地区の特性として、石手川・重信川・小野川と河川に囲まれており、河川の氾濫等による水害発生の可能性等についてよく学べた学習会になりました。



## 第4回「落語で初笑い！毎年恒例らくさぶろう新春寄席」開催案内

さくら児童クラブ運営委員会（共催：余土地区まちづくり協議会）では、昨年に引き続いて小学生の子どもたちに日本の伝統話芸「落語」の楽しさを知ってもらい、笑いで新年を迎え素晴らしい一年にしてほしいことを目的に「第4回落語で初笑い！」を開催いたします。大人の皆さんも大歓迎ですのでご参加ください。

日時：令和3年1月5日（火） 開場 13:15

（開演）

小学校低学年の部 13:30～14:00

小学校高学年・大人の部 14:20～15:00

会場：余土公民館 大会議室（2階）

《お願い》

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用をお願いいたします。
- ・事前に体温をチェックしていただき体調不良の場合はご遠慮ください。
- ・一般の方は受付で連絡先をご記入ください。

（問合せ先） さくら児童クラブ TEL 089-971-5849（午後1時～7時）

## のぞみ保育園「親子ふれあい広場」開催案内

のぞみ保育園地域子育て支援センターでは、下記により未就学児を対象にみんなで楽しく遊ぶことを目的にしました「親子ふれあい広場」を開催していますので希望者はご参加ください。

なお、参加されるには予約が必要ですので、参加ご希望の方は 971-9085（のぞみ保育園）まで電話で予約をしていただきますようお願いいたします。

実施月	実施日
11月	12日（木） ・ 19日（木） ・ 30日（月）
12月	7日（月） ・ 21日（月）
1月	14日（木） ・ 25日（月）
2月	1日（月） ・ 15日（月）
3月	1日（月） ・ 15日（月）



★時間 10:00～11:30

★場所 余土公民館 大会議室

★内容 うた・おはなし・誕生日会・育児相談・季節の行事・製作・からだあそびetc

【問合せ先】 社会福祉法人 愛育会 「のぞみ保育園」

松山市土居田町569番地 ☎ 089-971-9085

## 令和2年度「ふるさと学級」 開催！！

余土地区社会福祉協議会と余土公民館主催の「ふるさと講座」が、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて、今年も余戸、保免、市坪の3地区ごとに開催しました。今年も、「新型コロナウイルス感染症」と「エンディングノート」の2つの講座を開き、延べ162名の皆さんの参加がありました。

### ★新型コロナウイルス感染症について★

トマト薬局の薬剤師さんを講師に迎えて、新型コロナウイルス感染症をテーマにしたお話がありました。その中で、

#### (1) 日本の新型コロナウイルス感染の現状

- ①春の第一波に比べて夏の第二波の感染者数が数倍多くなっているが、死亡者は第二波の方が数分の一と死亡率が大幅に低下
- ②原因は定かではないが、軽症例の早期発見・新型コロナウイルス感染者に対する治療の進歩
- ③まだ有効なワクチンや治療薬が未完成の中、冬場の第三波の発生が懸念

#### (2) マスクさえしていれば安心か？

- ①ウイルス感染は主に自分の手を介して目・鼻・口から感染する。
- ②コロナウイルスは特に金属やプラスチック表面では9日以上残存する。
- ③特に帰宅時のうがいや手洗いが有効な対策となる。
- ④出来れば外食の際も食事前に手洗いや手の消毒をする。

#### (3) 手洗いについて

- ①石鹸やハンドソープを使った手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できるので、更にアルコール消毒液を使用する必要はない。

#### (4) まとめ

- ①コロナを怖がりすぎて家の中に閉じこもりすぎても、筋力低下やストレスの増加から免疫機能が落ちてしまうので、それではコロナ対策に全くなっていない。
- ②体を動かしてしっかり睡眠も取り、ストレス発散することが基本である。

### ★エンディングノートについて★

NPO法人「おかねについて学ぶ会」の整理収納アドバイザー1級の安部奈央さんを講師に迎え、「エンディングノート」のお話をいただきました。

その中で、エンディングノートのすすめとして、

- ①財産に関することに限らず、遺していく家族に伝えたい思いがあるなら、エンディングノートが便利
- ②自分らしい人生のエンディングに向けて、どんな最期を迎えたいのか、自分が亡くなった後、家族にどうしてほしいのかなど、自分の希望や考え方、家族に対する気持ちを綴るもの
- ③エンディングノートに想いを書き綴れば、人生のフィナーレに対しての自分の考えがきっと整理される。
- ④遺された家族からしても、旅立つ人の想いや希望を知って、叶えてあげられる大切な手掛かりとなる。



## 余土の史跡めぐり⑦

### 史跡「里程道標」

### (出合橋)

大洲街道、出合の渡し跡に立っている里程道標がある。松山市内西堀端にある「札ノ辻より」と銘した里程道標の中では最大級のものである。昭和54年(1979年)に地元の人が、この道標を自費で再建した。この人は「もと、ここには子供の背丈くらいの里塚石の跡地とは違う立木があったが、腐りかけたので立石に換えた。17丁か14丁だったかははっきり覚えていない。」と言う。この渡しでは、文政9年(1826年)に渡し舟が転覆し、松前のおたたさんが25名が死亡する大惨事があったという。この道標の表には、「出合渡 札之辻より一里十四丁」裏には「昭和54年8月 再建」と刻まれている。

